回覧

明治地区と辻堂地区にお住まいの皆様へ

２０２４年（令和６年）９月吉日

明治地区と辻堂地区における道路に関するアンケート

辻堂駅周辺では、JR 東海道線の南北を立体交差する道路が少ないため、土日を中心に交通が集中しており、本市ではこの地域に新たな道路が必要と考えています。

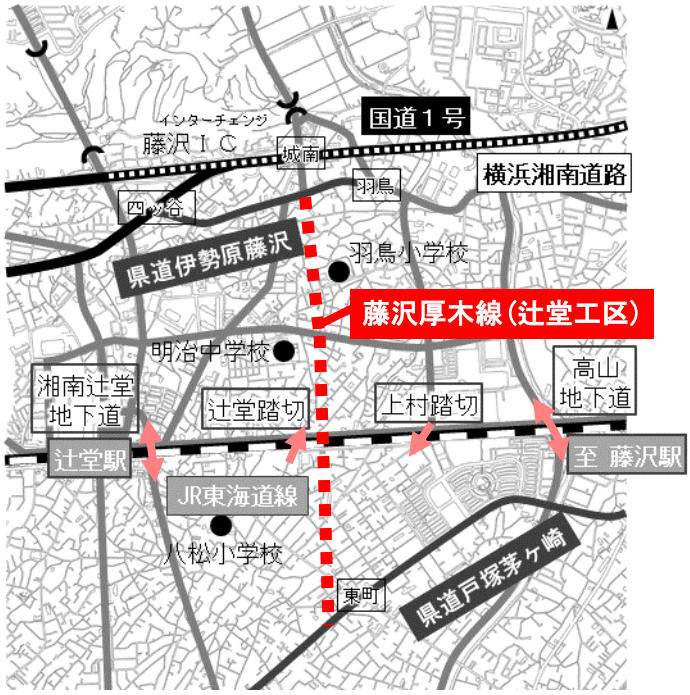
そこで、本市では神奈川県が予定している「かながわのみちづくり計画」の改定にあわせ、今後の事業の参考とするため、地域の道路状況や都市計画決定されている藤沢厚木線（辻堂工区）について、明治地区及び辻堂地区にお住まいの皆様にアンケート調査を行いますので、ご協力ください。

都市計画道路藤沢厚木線（辻堂工区）とは…

藤沢から厚木までの都市間を結ぶ幹線道路であり、１９５７年（昭和３２年）から藤沢市のまちづくりで骨格となる道路に位置付けられている路線です。

藤沢市内の区間は、県道伊勢原藤沢から北側の綾瀬市境までを順次整備してきました。県道伊勢原藤沢から南側の県道戸塚茅ヶ崎まで（辻堂工区）は未整備となっています。

辻堂工区は延長約 1.9km であり、JR 東海道線を立体交差しています。幅員は 25m あり、片側 2 車線の合計 4 車線で計画されています。



アンケートの回答方法

1. スマートフォン等による回答の場合は、右側の二次元コードを読み込み、アンケートフォームにアクセスして、各設問（最大 11 問）をご回答ください。
2. スマートフォン等以外による回答の場合は、藤沢市役所道路河川総務課（分庁舎４階）、明治市民センター、辻堂市民センター、明治いきいきサポートセンター、辻堂東いきいきサポートセンターの各窓口に配置のアンケート用紙にて、各設問（最大 11 問）をご回答のうえ、回収箱に投函してください。
3. 回答期限は、**2024 年 10 月 25 日**までです。

アンケート
フォーム

アンケートの
回答期間は
終了しました

その他：世帯につき１つの回答で、重複してのご回答はご遠慮ください。
このアンケートでは、個人情報はお聞きしません。
結果については 2025 年１月頃に報告会を予定しています。

問い合わせ先
藤沢市　道路河川部　道路河川総務課　国県道・GIS 担当
☎0466-50-3545　0466-50-8422　✉fj-dorokasen-s@city.fujisawa.lg.jp
道路河川総務課 HP：https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/doboku-k/

明治地区と辻堂地区における道路に関するアンケート

アンケートの回答期間は終了しました

回答方法：○や□に✓印をご記入ください。
※世帯につき１つの回答で、重複してのご回答はご遠慮ください。

【回答者について伺います】

① 回答者の年齢をご回答ください。
○30 歳未満 ○30～64 歳 ○65 歳以上

② 居住地区をご回答ください。
○明治地区 ○辻堂地区 ○その他

③ 居住年数をご回答ください。
○20 年未満 ○20～59 年 ○60 年以上

【地域の道路状況について伺います】

④ 日常生活において道路混雑を感じていますか。
○そう思う
○そう思わない →⑨にお進み下さい
○どちらでもない →⑥にお進み下さい

⑤ どこが混雑していますか。（複数回答可）
□湘南辻堂地下道（羽鳥立体）付近
□辻堂踏切付近
□上村踏切付近
□高山地下道付近
□上記以外の東西方向の道路
□その他（ ）

⑥ 道路混雑の対策が必要であると感じますか。
○そう思う
○そう思わない
○どちらでもない

⑦ どの対策がよいですか。
○藤沢厚木線（辻堂工区）の新設
○藤沢厚木線以外の道路の新設や改良
○不要
○わからない

⑧ ⑦の理由として近いものを次の中から選択してください。（複数回答可）
□渋滞緩和や JR 東海道線との立体交差による利便性向上が期待できるから
□延焼防止や緊急輸送の機能性向上につながるから
□元々計画されている道路であるから
□混雑を見越して移動をしているから
□自分が移転対象となるから
□地域コミュニティの分断を生むから
□計画時期から時間が経っており、道路の新設は時代に合っていないと感じるから
□対策の要不要の判断につながる情報が不足しているから
□その他（ ）

【藤沢厚木線（辻堂工区）について伺います】

⑨ 居住地と藤沢厚木線（辻堂工区）との位置関係をご回答ください。
○道路の計画地内に住んでいる
○道路の計画地外に住んでいる
○わからない

⑩ 藤沢厚木線（辻堂工区）の望ましい開通時期はどれですか。
○できるだけ早く ○30 年後
○わからない ○反対

【自由意見】

⑪ 何かありましたらご記入ください。

（ ）

※ご回答後は、備え付けの回収箱にお入れください。ご協力ありがとうございました。